

- 開く EsriASCII ラスター
- 開く EsriASCII ラスター1
- 開く EsriASCII ラスター2
- 開く EsriASCII ラスター3

目次

1. 機能	1
2. パネル	2
3. 関連するメニュー	4
4. 更新記録	4

1. 機能

Esri ASCII ラスター形式のファイル

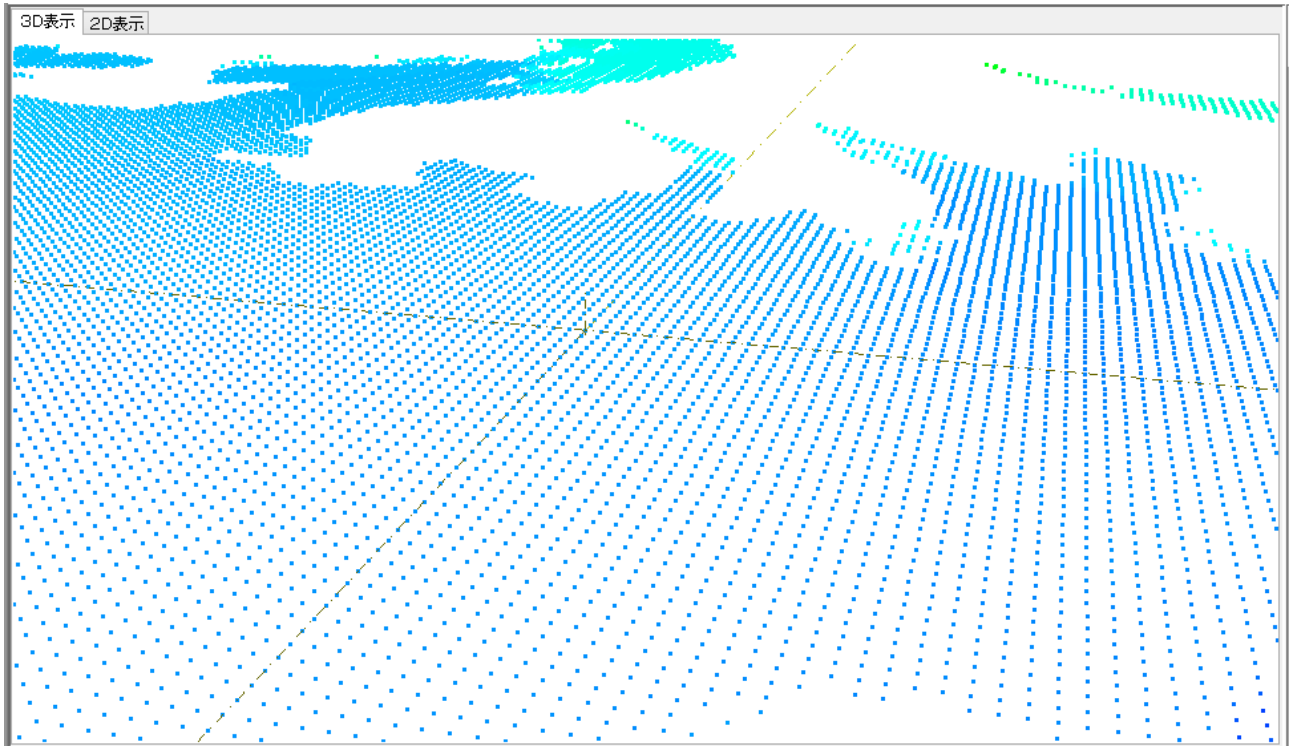
<http://desktop.arcgis.com/ja/arcmap/10.3/manage-data/raster-and-images/esri-ascii-raster-format.htm>

https://en.wikipedia.org/wiki/Esri_grid

を開き、三次元のポイントとして表示します。

```
>> 0 10 20 30 40
1 ncols 10000↓
2 nrows 10000↓
3 xllcorner -8000↓
4 yllcorner -35000↓
5 cellsize 0.1↓
6 NODATA_value -9999↓
7 24.93196 24.93287 24.93332 24.93446 24.932
8 96 24.79816 24.79538 24.79473 24.79144 24.
```

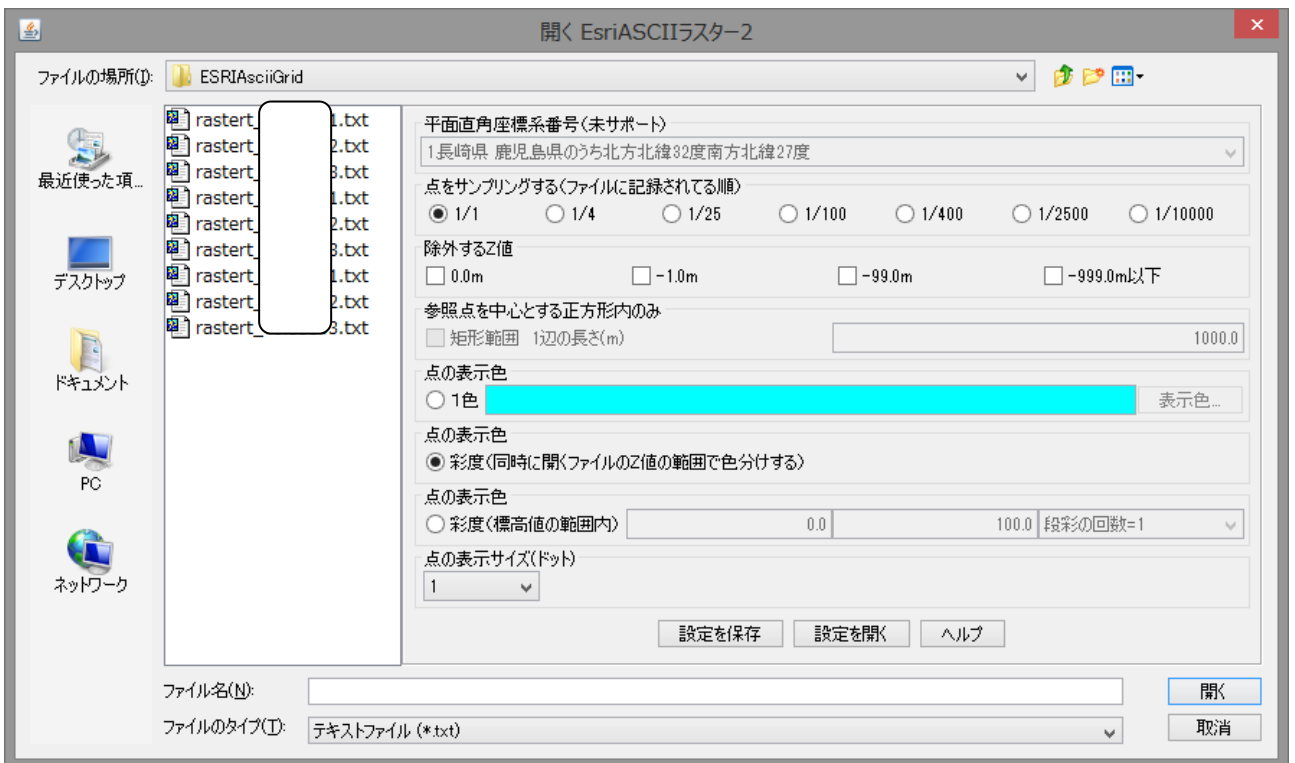
Esri ASCII ラスター形式のファイルはテキストファイルです。上図はヘッダー部分の例です。



上図は、値で段彩表示した例です。

Esri ASCII ラスターでの XY 座標は、平面直角座標系を想定しています。

2. パネル



平面直角座標系番号（未サポート）

座標が緯度経度で記録されたファイルがある場合、平面直角座標系に変換して表示する予定です。

点をサンプリングする（ファイルに記録されている順）

ファイルに記録されているポイントをサンプリングして、数を減らし表示します。

除外する Z 値

各ポイントの Z 値が、除外に指定した値の場合、表示しません。

参照点を中心とする正方形内のみ

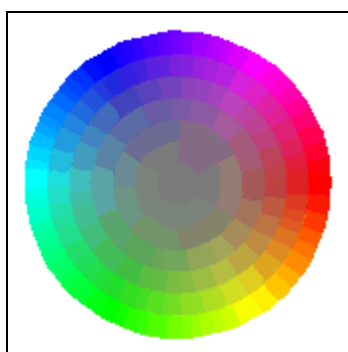
参照点を中心とする正方形内のある点のみを表示します。

1 色

ポイントを全て同じ色で表示します。表示色は右側の「表示色」ボタンで設定できます。

彩度（同時に開くポイントの Z 値の範囲で色分けする）

同時に開いたファイルの値の範囲で、青から赤の色相で色分けして表示します。



上図はウィキペディア「<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BD%A9%E5%BA%A6>」の彩度の図です。

青から緑、赤へ、反時計回りに色分けします。

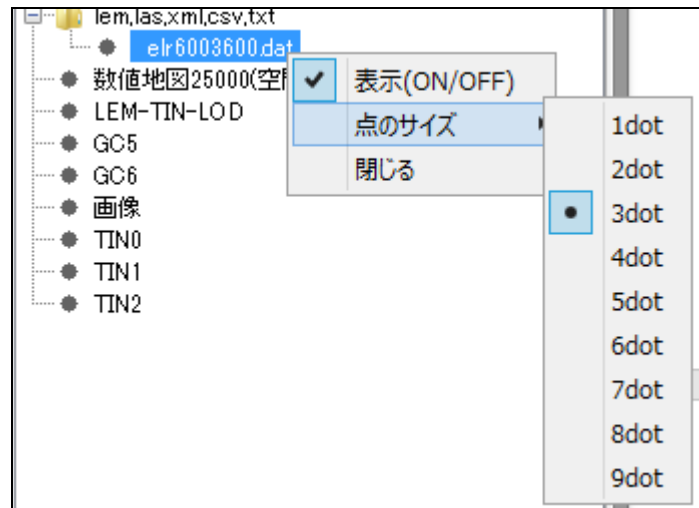
彩度（標高値の範囲内）

指定された標高値の範囲内について、青から緑、赤まで色分けします。範囲外の標高値のポイントはグレーで表示します。

点の表示サイズ(ドット)

ポイントの表示サイズを指定します。

開いた後で、変更できます。



3. 関連するメニュー

Esri ASCII ラスター形式のファイルシェープファイルに変換します。

EsriASCII ラスターをシェープに変換

<http://www.geocoach.co.jp/help/TXTEsriAsciiRasterToShp0Dialog.pdf>

Esri ASCII ラスター形式のファイルを LEM(.lem と.csv の組)に変換します。

EsriASCII ラスター形式を LEM へ変換

<http://www.geocoach.co.jp/help/LEMConvertFromEsriAsciiDialog.pdf>

4. 更新記録

2019/07/04

✓このメニューを作成